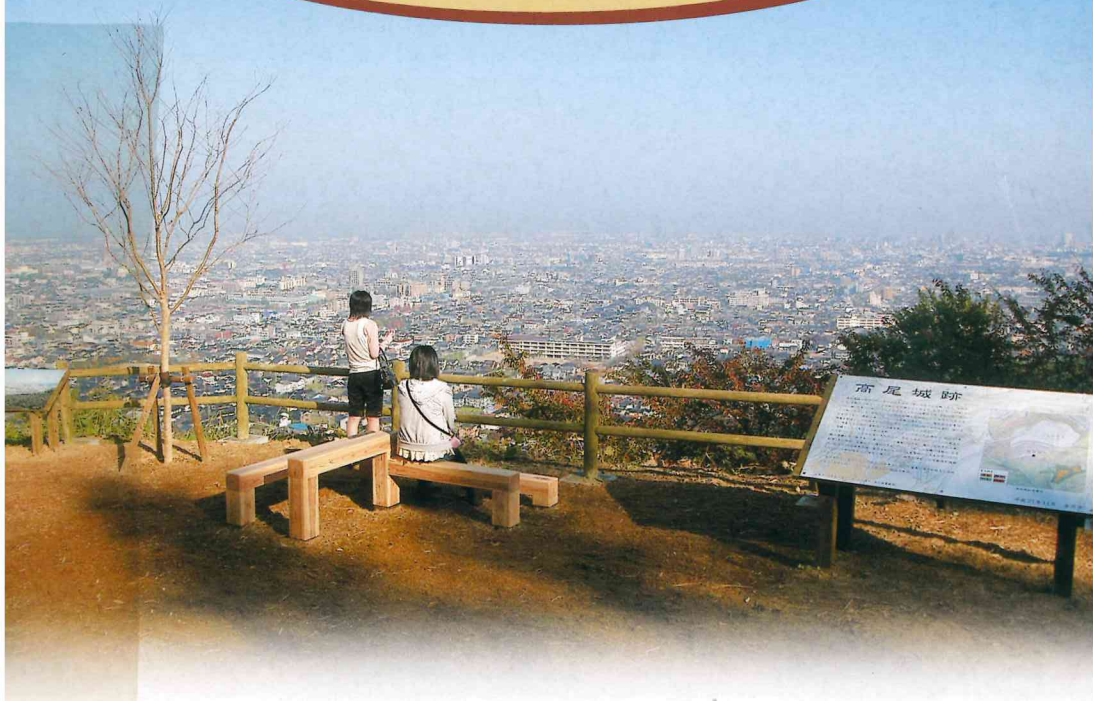




たか お じょう し み は だい

高尾城址見晴らし台



金沢市では、美しいまちなみを眺望できるポイントとして「高尾城址見晴らし台」を整備しました。

整備箇所は高尾城址のジョウヤマと呼ばれている地点で、金沢市街地がほぼ一望でき、遠くは日本海まで見渡すことができます。また、周囲には桜が多く植栽されており、花見の絶好ポイントでもあります。

この見晴らし台が地域の歴史や文化にふれあい、地域の皆さまのコミュニティ空間として活用されることを期待しています。

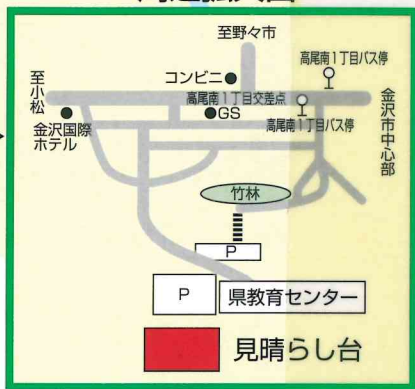


高尾城址見晴らし台

◆バスをご利用の場合は
高尾南1丁目 下車
徒歩 約15分



周辺拡大図



■お問い合わせ

金沢市産業局農林部森林再生課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

電話 (076) 220-2217

FAX (076) 222-7291

E-mail nourin_mori@city.kanazawa.lg.jp

http://www4.city.kanazawa.lg.jp/17062/morizukuri/index.jsp

金沢の豊かな環境を育む森林を守り、貴重な財産として次世代に継承するため、地域の皆さまとともに、「ふるさとの森づくり」を進めています。

金沢産材マスコットキャラクター
かなりん



たこうじょうあと 高尾城跡について

高尾城跡は標高190m程の丘陵先端部一帯に所在する山城である。史料中には、富樫氏の城として多胡城や富樫城などと見える。長享2年（1488）の一向一揆（長享の一揆）によって攻め落とされた加賀国守護・富樫政親の城として知られている。富樫氏は石川郡富樫郷を本拠地とした加賀を代表する武士団であり、建武2年（1339）に加賀国守護となった。高尾城は非常に楯籠る城砦として利用されていたと考えられ、平時は野々市町佳吉町、扇が丘町に所在する守護所（富樫館）で政務を執っていたとされる。

見晴らし台のあるこの地は通称「ジョウヤマ」と呼ばれる場所で、昭和45年の土取りによってその大半が失われたが、背後の通称「コジョウ」には現在も城の遺構が残されており、虎口（入口）や曲輪（削平地）、堀切（尾根を切る堀）、切岸（急な斜面）、竪堀などが確認できる。ただし、これらの遺構の特徴は、長享の一揆後の16世紀後半頃に築造されたもので、元龜年間から天正8年（1570～1580）の柴田勝家方の侵攻に備えた一向一揆勢が関わった可能性が指摘されている。

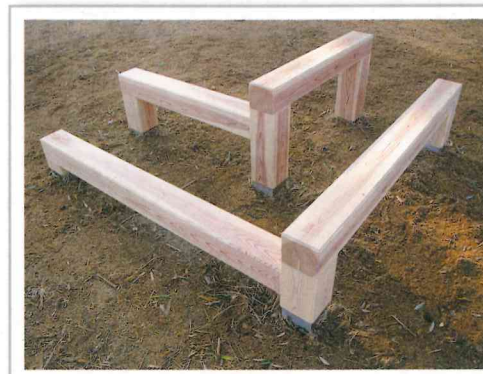
金沢平野を一望できるこの地は、日本史上において重要な事件が起きた場所であり、当時を偲ぶことができる数少ない城跡である。



見晴らし台



遊歩道



ベンチ



歴史由来看板

● 周辺施設



● 額谷石切場跡（ぬかだにいしきりばあと）
藩政期から昭和の中頃にかけて岩石が切り出されたところ。戦時中は、地下軍需工場に改造されましたが、稼働しませんでした。



● 御廟谷（ごびょうだに）
県指定史跡（昭和14年5月10日指定）
加賀の守護富樫氏の累代の墓所といわれています。

■ 竣工

平成21年（2009年）11月8日（日）

■ 工事内容

1. 場所 金沢市高尾町地内
2. 整備内容
 - ・見晴らし台 面積：約500㎡、標高：160m
竹チップ敷き、安全柵、ベンチを設置
眺望看板、歴史由来看板、記念植樹
(コシノヒガンザクラ)
 - ・遊歩道
延長：約290m、標高差：約70m
竹チップ敷き、階段には金沢産間伐材を使用

